

都市計画マスタープランの主な改定ポイント

このたびの都市計画マスタープランの改定は、本市の社会情勢の変化を踏まえ、第二次山陽小野田市総合計画に即す形で、都市計画法第18の2に基づき行うものであり、基本的には、平成21年に策定した現行の都市マスに示すまちづくり方針を継承し、見直しが必要な部分について、修正し、改定するものである。

主な改定の要素	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な都市づくりを推進するための集約型都市構造 ・ 山口東京理科大学の公立化、薬学部新設 ・ レノファヤサンパーク、竜王山、本山岬、花の海などの集客に対応 ・ 防災や空き家 ・ 公共施設やインフラ等の維持・保全・管理 ・ 協創、シビックプライド、スマイルエイジング ・ 都市再生整備計画 ・ 厚狭駅南部地区まちづくり ・ 景観行政団体 ・ 特定用途制限地域 	

経過状況		
平成 29 年	11月27日 ～12月15日	市民アンケート実施
平成 30 年	3月19日	改定委員会開催（第1回）
	6月11日	改定委員会開催（第2回）
	7月9日 ～7月20日	高校生アンケート実施
	7月17日	都市計画審議会（中間報告）
	8月2日 ～8月10日	都市計画きらきら会議（第1回） （小野田地域、高千帆地域、厚狭地域、埴生地域）
	8月22日 ～8月30日	都市計画きらきら会議（第2回） （小野田地域、高千帆地域、厚狭地域、埴生地域）
	10月17日	改定委員会開催（第3回）
	12月25日	都市計画審議会（中間報告）
平成 31 年	1月7日	改定委員会開催（第4回）
	2月28日	改定委員会開催（第5回）
	3月22日	都市計画審議会（中間報告）

<目次構成>

<主な改定ポイント>

1 都市計画マスタープランとは.....

- (1) 計画の位置づけ.....
- (2) 計画の期間・対象区域.....
- (3) 計画の役割と構成.....

2 現況と課題.....

- (1) 山陽小野田市の概要.....
- (2) 山陽小野田市を取り巻く現状.....
- (3) 山陽小野田市の都市計画上の問題・課題.....

3 まちづくりの基本目標.....

- (1) 都市づくりの基本理念.....
- (2) 都市づくりの基本方針.....
- (3) 将来人口フレーム.....

4 全体構想.....

- (1) 将来の都市構造.....
- (2) 土地利用の方針.....
- (3) 交通体系整備の方針.....
- (4) 都市環境の保全及び創出の方針.....
- (5) 市街地整備の方針.....
- (6) 都市景観形成の方針.....
- (7) 都市防災の方針.....

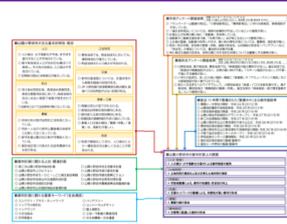
5 地域別構想.....

- (1) 小野田地域.....
- (2) 高千帆地域.....
- (3) 厚狭地域.....
- (4) 埴生地域.....
- (5) 地域間連携の方針.....

6 実現化方策.....

- (1) 都市計画の変更・見直し.....
- (2) 関連計画の策定.....
- (3) 市民が主役のまちづくりの推進.....
- (4) 総合的な協働体制の構築.....
- (5) 実現化方策の展開.....
- (6) 都市計画マスタープランの見直し.....

- 本市を取り巻く現状の体系図化
- これらを踏まえた本市の問題・課題の整理



- 都市計画マスタープランにおける都市将来像を、第二次総合計画を踏襲する形に変更



- 本市の現状等を踏まえ、前回計画から変更・追加等が必要な点を見直し、修正・改定

- 各地域の現状に加え、市民アンケートで明らかとなった地域の「重点改善事項」やワークショップによる「まちの将来の姿」に関する意見を基に各地域のまちづくり方針等を修正



- 持続可能な都市の形成を目指すため、集約型都市構造の実現に向けた計画の検討について追加
- 景観行政団体への移行により景観計画の策定について追加
- 実現化方策をより具体的に進めるための展開スケジュールを掲載



■現況と課題

<現状と課題の改定概要>

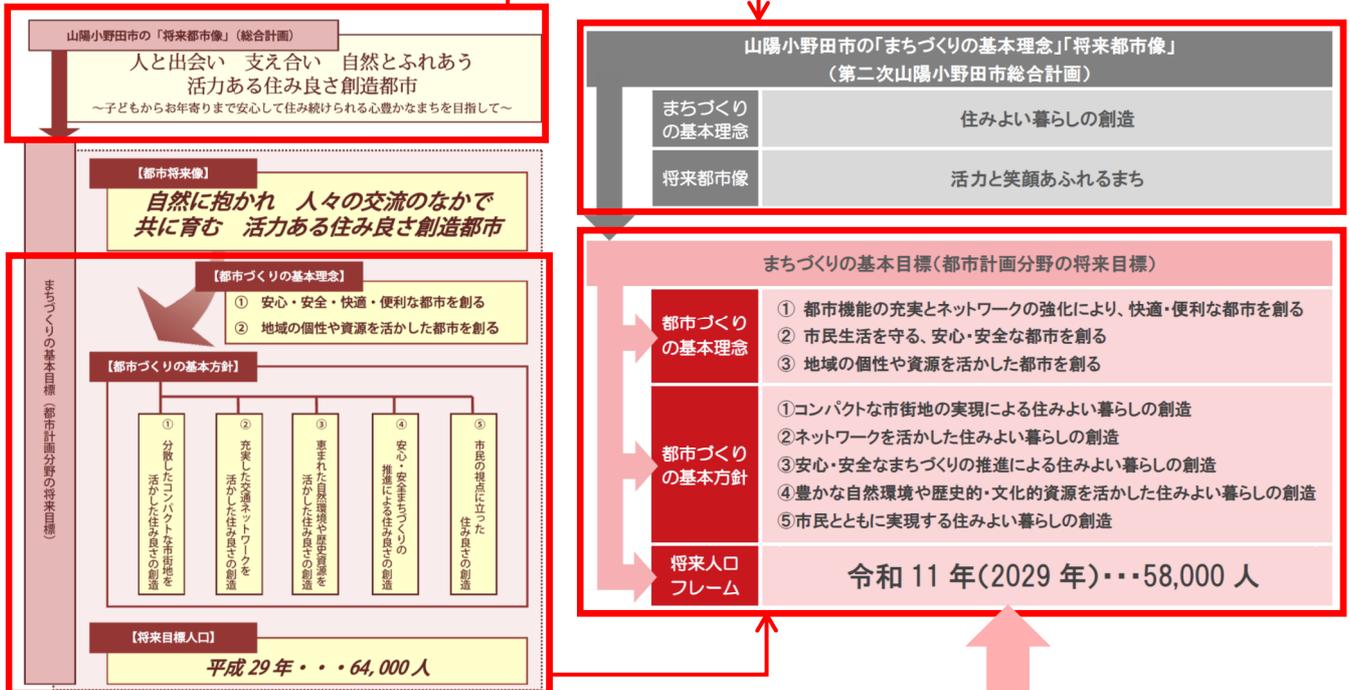
改定前	改定案
1. 分散する市街地間の「連携」と市街地内の「集約化」の必要性	2) 土地利用の集約化と活力を育む土地利用の検討【土地利用】 4) 交通ネットワークの整備による、利便性が高い都市の形成【交通】
2. 身近な生活基盤施設の整備改善の必要性	5) 景観や緑の保全【景観】
3. 活力・にぎわいを育む土地利用、施設整備の必要性	3) 市街地整備による、都市の快適性・安全性の向上【市街地】
—	1) 人口減少・少子高齢化の進行による都市経営の維持【人口・財政】 6) 災害等に配慮した都市の形成【都市防災】

- ✓ 体系図化した現状をもとに、分野別に課題を細分化。
- ✓ 財政状況や人口減少、防災に関する市民意識の高まりを受けて1)及び6)の視点を追加

■まちづくりの基本目標

<改定前>

<改定案>



- ✓ 都市将来像を設定せず、第二次総合計画の将来都市像を踏襲する形に変更。
- ✓ 「安心・安全・快適・便利」の1つの理念を、「快適・便利」と「安心・安全」の2つに分け、それぞれを理念として、具体的なものとした。

■全体構想

✓ 本市の現状等を踏まえ、前回計画から変更・追加等が必要な点を見直し、修正・改定

■地域別構想

<改定前>

<改定案>

2 地域住民の意見

●市民アンケートより
市民アンケートでは、身近な山・川・海の減少を懸念する住民が多く、生活道路や身近な公園の整備を必要とする割合が高い、という特徴が見られました。

●ワークショップ意見より
地域別ワークショップでは、地域の良いところ・悪いところ、まちづくりのテーマが次のようにまとめられました。

地域の良いところ	地域の悪いところ
<ul style="list-style-type: none"> 身近な集会所で公共施設が充実している おのだサンパークに多くの人が集まっている 竜王山公園をはじめ周辺山岳公園がいくつもある きららビーチ焼野の景観が美しい 幹線道路がしっかり整備されており、街路樹も整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み、空き家が増えている 高齢者向けの身近な商業施設がない 大型車両が通過するため危険である 狭い生活道路の拡張が必要である 公園の維持管理、リニューアルが必要である

ワークショップであげられたまちづくりの重点テーマ

- ◎おのだサンパークを活用した既成市街地の活性化
- ◎竜王山・きららビーチ焼野の活用と周辺との連携

主なまちづくりの方針

- ・おのだサンパーク周辺における商業集積地の形成
- ・南北方向道路（海岸道路）の整備
- ・市街地内の探検道路の改善
- ・公園、観光施設、商業施設間の連携強化
- ・竜王山公園、きららビーチ焼野の施設の実現

3 地域の特性と課題

小野田地域は、南北方向に長く市街地が形成されており、北側には公共施設や商業施設が集積する利便性の高い市街地、南側には竜王山公園やきららビーチ焼野などの交流・レクリエーション拠点が形成されています。また、西側の臨海部の工場地帯から密集した市街地、東側の丘陵地の住宅団地へと段階的に変化する都市構造になっています。地域の主なまちづくりの課題には次のようなものがあります。

- ◎大規模商業施設、公共施設が持つ集客力の活用
- ◎交流・レクリエーション拠点の整備充実と拠点間連携の強化
- ◎既成市街地内における生活道路の改善
- ◎空き家の流通・管理や計画的な住宅の建替えの促進
- ◎J R小野田線によって分断されている東西方向の連携強化
- ◎自動車の交通処理機能の強化と安全・快適な歩行者空間の確保
- ◎自然災害に対する防災対策
- ◎市立山口東京理科大学周辺における居住利便性の向上

2 地域住民の意見
地域住民の意見のポイントを整理すると、以下の

●市民アンケート（平成29年度（2017年度）実施）
[平均値より満足度が低く、「特に重点的に改善に取り組み必要がある」項目]

① 空家等の管理及び抑制対策	⑤ 身近な道路の整備
② 自然災害に対する防災対策	⑥ 身近な道路の安全性
③ まちの防犯対策	⑦ 騒音、悪臭などの公害対策
④ 公共施設の安全性・バリアフリー	

※番号は満足度が低い順

●ワークショップ意見（平成30年度（2018年度）実施）
[まちの将来の]

〈交通・道路〉

- 地域交通システムが整い、移動が便利なまち
- 楽しく買い物や飲食ができ、人が行き交うまち
- 祭などのイベントで、にぎわいがあるまち
- 観光資源を活用し、交流人口を増やすまち
- 働ける環境、企業が多いまち

〈産業・商業・観光・にぎわい〉

- 高齢者に優しいまち
- 人口が増える工夫
- 市立山口東京理科大学を拠点とした周辺整備
- 安全・安心
- 安心安全で住みやすいまち

〔キャッチフレーズ〕

- 若者が目立つ街
- 多くの若者が集う町

重点改善課題についてアンケートを分析

市民が考える地域の将来像等を分野別に整理

<改定前>

<改定案>

小野田	【将来像】 活力ある産業と美しい眺望を活かしたにぎわいを育むまち	【将来像】 商業と観光を活かしたにぎわいを育む大学のあるまち
	<ul style="list-style-type: none"> ■拠点の充実と拠点間をつなぐネットワークの充実 ■利便性の高い市街地と緑豊かな市街地の形成 ■住環境と調和する産業基盤の整備充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■拠点の機能強化と拠点間をつなぐネットワークの充実 ■生活利便性が高く、にぎわいのある市街地と緑豊かな市街地の形成 ■学術研究拠点周辺における居住環境の充実
高千帆	【将来像】 快適で便利なまちなかを多くの人々が行き交うまち	【将来像】 快適で便利なまちなかを多くの人々が行き交うまち
	<ul style="list-style-type: none"> ■小野田駅周辺における都市核にふさわしい集積促進 ■小野田駅を起点とするネットワークの充実 ■良好な住環境、自然環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■小野田駅周辺における都市拠点にふさわしい都市機能の集積促進 ■小野田駅を起点とするネットワークの充実 ■良好な住環境と自然環境の保全
厚狭	【将来像】 豊かな自然と長い歴史に抱かれた個性と魅力があふれるまち	【将来像】 駅を中心に交流が生まれる自然と歴史が共存するまち
	<ul style="list-style-type: none"> ■厚狭駅周辺における都市核にふさわしい集積促進 ■歴史資源の保全活用と資源を巡る回遊性の向上 ■良好な田園環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■厚狭駅周辺における都市拠点にふさわしい都市機能の集積促進 ■歴史的・文化的資源の保全活用と資源を巡る回遊性の向上 ■良好な田園環境の保全とデマンド型交通の活用
埴生	【将来像】 山と川と海を守り地産地消で地域の活力を生み出すまち	【将来像】 美しい景観と自然を守り地域の活力と交流を育むまち
	<ul style="list-style-type: none"> ■観光資源の一体性を強化するためのネットワーク形成 ■美しい海岸と丘陵地の保全 ■既成市街地の改善と緑豊かな市街地の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ■観光資源の一体性を強化するためのネットワーク形成 ■美しい海岸と山林の保全 ■住みやすい既成市街地の形成と緑豊かな居住環境の保全

✓ 各地域の現状や、市民アンケート、ワークショップ結果を受けて、地域の将来像とまちづくり方針を修正

■実現化方策

<実現化方策の改定概要>

改定前	改定案
(1) 総合的な協働体制の構築 1. 実現化に向けた協働体制の構築 2. 実現化に向けた総合的な取り組みの推進	(4) 総合的な協働体制の構築 1. 実現化に向けた協働体制の構築 2. 実現化に向けた総合的な 取組 の推進
(2) 市民が主役のまちづくりの推進 1. まちづくり情報の発信 2. 市民のまちづくり参加機会の増大 3. まちづくりリーダーの発掘・育成 4. 市民が主役となったまちづくり活動の支援 5. 協働によるまちづくりの推進 6. 都市計画提案制度の活用	(3) 協創 によるまちづくりの推進 1. まちづくりの情報発信 2. 市民のまちづくり 参画 機会の増大 3. まちづくりリーダーの発掘・育成 4. まちづくり活動の支援 5. 誰もが主役になれる まちづくりの推進 6. 都市計画提案制度の活用
(3) 都市計画の変更・見直し 1. 用途地域等の見直し 2. 用途地域の指定のない区域における規制・誘導手法の導入 3. 都市施設の見直し 4. 市街地開発事業の見直し	(1) 都市計画の変更・見直し 1. 用途地域等の見直し 2. 都市施設の見直し
—	(2) 関連計画の策定 1. 集約型都市構造の実現に向けた計画の検討 2. 景観計画の策定

- ✓ 持続可能な都市の形成を目指すため、集約型都市構造に向けた(立地適正化計画など)検討について追加。
- ✓ 景観行政団体への移行により、景観計画の策定について追加。

<実現化方策の展開>

項目	短期(おおむね5年)	中長期(おおむね10~20年)
土地利用	○用途地域の見直し ○郊外部の無秩序な市街化抑制	○目指すべき土地利用の誘導 ○その他のまちづくり制度等の活用検討 ・立地適正化計画 ・地区計画 等
都市施設 (道路・公園・緑地等)	○幹線道路の整備・改良 ・環道妻岡開作小野生線の整備 ・環道小野田山陽線の整備	○都市計画道路及び都市公園・緑地の見直し ○道路及び公共交通網、都市公園・緑地の整備と維持管理
都市環境 (防災・防犯、下水道等)	○防災・防犯、交通安全対策 ○下水道の見直し	○生活環境施設の整備と維持管理 ・下水道の整備 ・生活道路の整備
市街地整備 都市景観	○都市再生整備計画の推進	○景観法等を活用したルールづくり ・景観計画、条例 ・屋外広告物条例 ○規制・誘導 ○市街地の活性化

✓ 実現化方策をより具体的に進めるための展開スケジュールを掲載

- (5) 実現化方策の展開
- (6) 都市計画マスタープランの見直し